

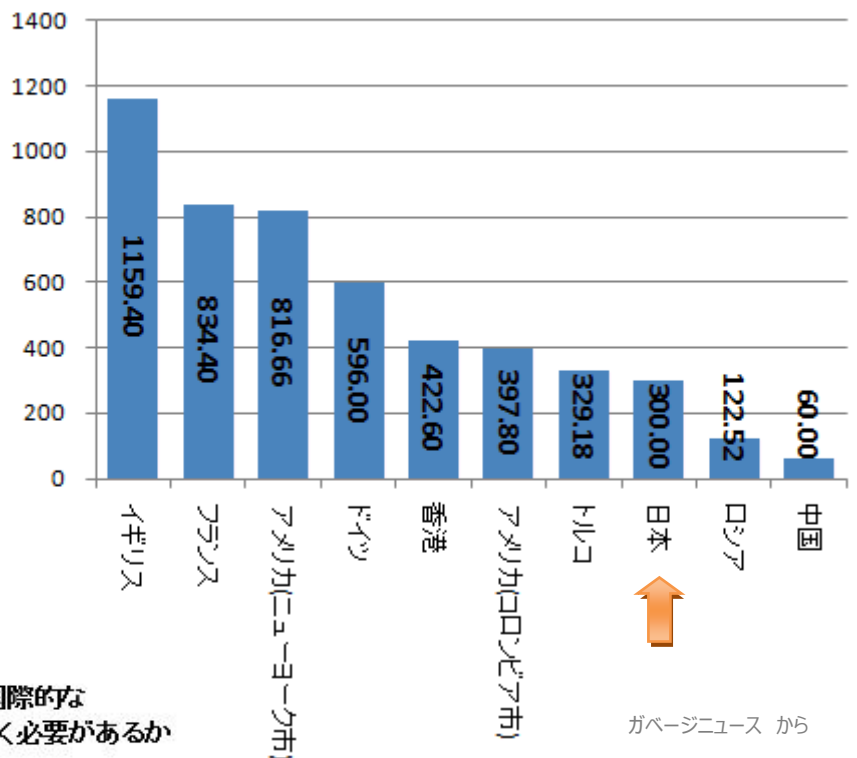
タバコの正体

2020年の東京オリンピックに向けて色々な分野で、その準備が進められています。そのなかには「タバコのない五輪」を目指す準備も含まれていますが、世界じゅうから大勢の人々が訪れることになる日本のタバコ事情は、国際的に見てどうなのでしょう。

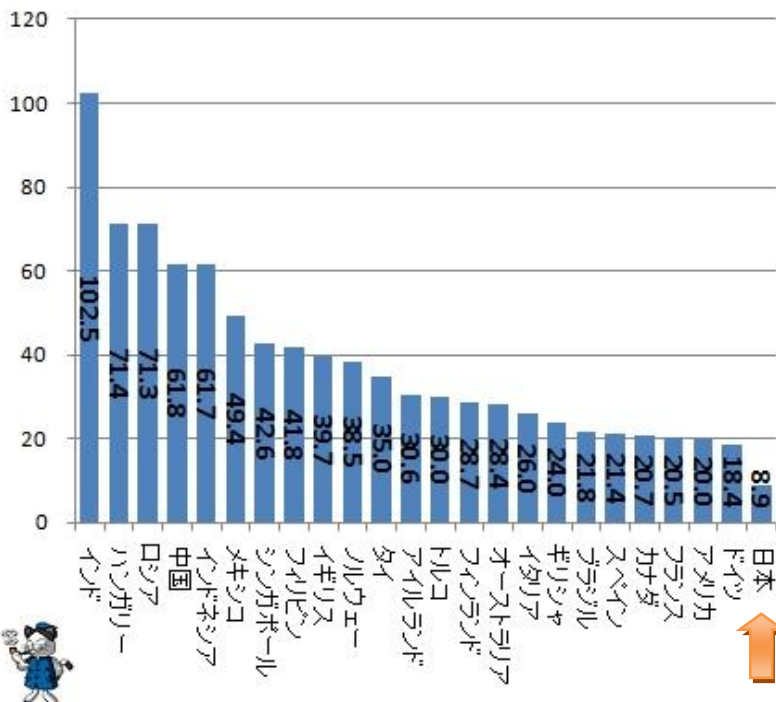
まず右のグラフを見てください。10年前のデータですが、日本のタバコが300円の時代にすでにイギリスでは千円を超えていました。現在でも日本のタバコ価格は主要国のなかではきわめて安い状況です。

さらに下のグラフは、各国の経済状況に合わせたタバコの物価を表しています。例えば、タバコ1箱の金額を稼ぐには、インドでは2時間近く(102.5分)も働く必要があります。対して日本では、たった8.9分働けば買ってしまうわけです。

財務省資料によるたばこ価格一覧
(2006~2007年、調査時の為替レートで日本円換算、銘柄は類似・同等品で)



Malboroまたはそれに匹敵する国際的なブランドタバコ1箱を購入するのに何分働く必要があるか



つまり、日本は経済力がある上に価格が非常に安いので、すごくタバコを買いやすい国なのです。人々の健康を害するタバコを入手しにくくするために値段を高くするのが世界の潮流なのですが、日本はこの流れに大きく遅れています。

タバコを吸わない君たちには、現在1箱430円もするタバコは高いと感じるでしょうが、じつは国際的には非常に安いのです。

産業デザイン科 奥田 恭久